

○第4回研修会（8月23日オンライン開催）

1. 基礎研修

□合同研修

・高校訪問研修の報告 春吉中学校 永山先生

夏休みに実施した中学部の香住ヶ丘高校への高校訪問について報告していただきました。英語科では英語での討論やドラマの授業が実施されています。福岡女子大学と連携したさまざまな充実した取組みもされています。学生たちが課題を見つけ、課題解決を行いながら、充実した学校生活を送っているとのことでした。今後の進路指導に参考にしていきたいです。

□分科会

・小学校 小学生への進路指導、保護者会での進路の説明について 香椎浜小学校 下家先生
・中学校 高校訪問研修のまとめ 春吉中学校 永山先生

香椎浜小学校で下家先生が実践されているJSL児童への進路指導について詳しく教えていただきました。日本の学校の制度、受験可能な高校、特別入試の内容・時期など、日本で進学する上で必要な情報をわかりやすく保護者と児童に伝えられていました。また、JSL児童が特に知っておかなければならない心構えなども集約されており、大変参考になりました。

2. 本研修

「考える授業」をJSLでどう実現する？-「わかる授業」のその先を、みんなで考えてみよう

講師：広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 南浦 涼介先生

南浦先生に「考える」という視点で貴重なお話を伺いました。昨年度、授業を提案してくださった若久小学校有松先生に5年『グラフや表を用いて書こう』の指導の工夫を改めて具体的に説明していただき、全員で再度考えることができました。今の学校で求められているのは、「探求」であり、知的好奇心が考える意味のある学びの中で知識も育まれるということがわかりました。日々の指導の中で今回教えていただいた「考える」作業を組み合わせ、より効果的な日本語指導を行っていききたいと思います。

感想

- ・考える授業にするために教師が子どもの興味関心実態から学習内容を取捨選択して指導していくことが大切だと分かりました。ワークショップ形式が良かったです。
- ・「考える」ことを分析してみて、改めて、日本語レベルや学力、発達段階などによってそれぞれの子どもにそれぞれの手立てや学習内容の精選など個別の対応が必要であると感じました。
- ・目からうろこでした。この手の単元は、日本語指導担当になって、文をいかに書かせるかにばかり思いがいて支援していました。最初のテーマを決めるところ、調べ、書くモチベーションにもなる所の大切さに気付いていませんでした。最初に考えさせ、テーマを確かにして統計資料を見つけたり、教師から提示された統計資料を読み取らせたりして、この単元を指導したいです。

3. 9月センター研公開授業について

9月15日に東箱崎小学校で公開授業をされる田中先生から、指導案について説明がありました。田中先生が提案してくださる手立てや工夫を通して、全員で考えていきたいです。